

# 南海グループ トヨタ 泉佐野市に「ミミライ」寄贈 環境教育にも使用

トヨタ南海グループ（久保尚平社長）は、泉佐野市に燃料電池車（FCV）「ミミライ」を1台寄贈した。市は、二酸化炭素を一切排出しないFCVを公用車として活用するとともに、児童らを対象とした環境教育にも使用するな

ど、市民の環境意識啓発にも役立てていく意向だ。

3月29日に市役所で感謝状贈呈式を開いた。久保社長が千代松大耕市長にマスコットキーを手渡し、千代松市長は感謝状を贈った。

久保社長は、脱炭素を目指

寄贈車両の前で記念撮影に応じる久保社長（左）と千代松市長



す自動車産業の現状や自動車の進化について説明し、「FCVは性能の良さも含めてガソリン車の次のステータジの車。市民の皆さまにも普及に向けた一層のご理解をいただきたい」と述べた。

千代松市長は「環境への負荷が少ない車両の寄贈は、市の取り組みともマッチする。災害時の非常用電源としても期待したい」と、外部給電機能にも関心を示した。

式典後、寄贈車両を披露した。市のキャラクター「イヌナキン」と「ゆるるナキン」も登場し、式典を盛り上げた。